

附中校歌

作詞 安西冬衛
作曲 加藤直四郎

1. たてごとならず おかのま一つ
2. ももぐさもゆる てんのうーじ

5. みみにすがしーき うえまちーの
つどいゆかしーき おしえぐーき

9. はるのまどべーに たたずみては
あいのともがーき むすびては

13. のぞむ みらいの あさーみどり
ちぎる まことの ふかーみどり

17. そらよりひろき わがおもい はてなききぼう わきあがる
うみよりふかき しのめぐみ みなぎるかんしゃ あふれくる

21. われらはふぞく ちゆうがく せいひか
われらはふぞく ちゆうがく せいさか

25. りぞとわに とこしえに
えぞとわに とこしえに

<注> 詩人安西冬衛氏の作詞に附中4期生加藤雅史氏の父加藤直四郎氏（元大阪教育大学教授）が作曲されたもので、昭和27年3月21日に発表した。

附中校歌

作詞 安西冬衛
作曲 加藤直四郎

一、^{たそ} 堅琴 鳴らす 丘の松
耳にすがしき 上町の
春の窓べに たたずみて
望む未来の あさみどり
空より広き わが思い
はてなき希望 湧き上る
われらは 附属中学生
光ぞとわに とこしえに

二、^{ひゃくしゆ} 百種 萌ゆる天王寺
集い床しき 教え草
愛の友垣 結びては
ちぎるまことのふかみどり
海より深き 師のめぐみ
みなぎる感謝 溢れくる
われらは 附属中学生
栄ぞとわに とこしえに



中学の校歌制定は1952
(昭和27)年3月21日